

メソトレキセート錠 2.5mg

【この薬は？】

販売名：メソトレキセート錠 2.5mg METHOTREXATE TABLETS 2.5mg

一般名：メソトレキサート Methotrexate

含有量：1錠中 メソトレキサート 2.5mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗がん剤のなかの代謝拮抗剤（葉酸代謝拮抗剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、細胞のDNA（デオキシリボ核酸）合成に必要な活性型葉酸を作る酵素の働きを妨げ、がん細胞増殖を抑えます。
- ・次の目的で処方されます。

下記疾患の自覚的並びに他覚的症状の緩解

急性白血病

慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病

絨毛性疾患（絨毛癌、破壊胞状奇胎、胞状奇胎）

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にメソトレキセート錠に含まれる成分で重篤な過敏な反応を経験したことがある人
 - ・肝臓に障害のある人
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・胸水、腹水などのある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・骨髄機能抑制（貧血、白血球減少、血小板減少）がある人
 - ・感染症にかかっている人
 - ・水痘（みずぼうそう）にかかっている人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- この薬を使用する前に血液検査で、肝炎ウイルスに感染しているかどうかを確認されます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

〔白血病の場合〕

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

	幼児	小児	成人
1 日量	1/2～1 錠	1～2 錠	2～4 錠
回数	1 週間に 3～6 日飲みます		

〔絨毛性疾患の場合〕

通常、成人は、1 日 4～12 錠を 5 日間連続して飲み、その後 7～12 日間は休みます。これを 1 クールとして繰り返すことがあります。ただし、医師があなたの症状や副作用の様子を診ながら、飲む量や飲む期間を変えたり、休む期間を変えたりすることがあります。医師の指示を守ってください。

●どのように飲むか？

コップ一杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

飲み忘れに気づいた場合には、その薬は飲まずにとぼして、次の決められた時間に次の薬を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

- ・血液障害や消化管障害（出血しやすい、発熱、からだがだるい、吐き気、腹痛、血が混ざった便など）があらわれることがあり、死亡にいたったとの報告もあります。誤って多く飲んでしまったら、すぐに医師または薬剤師に連絡してください。
- ・過量使用の治療薬としてホリナートカルシウム（ロイコボリンカルシウム）が

あります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬により骨髄機能の低下、肝・腎機能障害などの重篤な副作用がおこることがあるので、使用中は頻回に血液、肝臓、腎臓などの検査が行われます。受診日を守ってください。
- ・消化管障害がおこることがあるので下記の症状があらわれた場合には使用を中止し、すぐに受診してください。
口内炎、激しい腹痛、嘔吐（おうと）、下痢、発熱、倦怠感（けんたいかん）
- ・感染症（かぜのような症状、からだがだるい、発熱、嘔吐（おうと）など）、出血傾向（歯ぐきからの出血、出血が止まりにくい、あおあざができる、鼻血など）の症状があらわれたら、すぐに医師または薬剤師に連絡してください。
- ・この薬を使用している間は生ワクチン[麻疹（はしか）、風疹（ふうしん）、おたふくかぜ、水痘（みずぼうそう）、BCG、ポリオ（小児マヒ）など]の接種はできません。接種の必要がある場合には主治医に相談してください。
- ・副作用があらわれた場合、治療薬としてホリナートカルシウム（ロイコボリンカルシウム）があります。
- ・B型またはC型肝炎ウイルスキャリアといわれている人、または過去にB型肝炎ウイルスに感染したことがある人は、この薬の使用や使用終了後に継続して検査が行われます。発熱、倦怠感（けんたいかん）、皮膚や白眼が黄色くなる、食欲不振などの症状があらわれた場合には、速やかに医師に連絡してください。
- ・妊娠または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。


重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、じんましん、判断力の低下、動悸（どうき）、息切れ、息苦しい、からだがだるい、考えがまとまらない、ほてり、ふらつき、意識の低下
骨髄抑制 こつずいよくせい	鼻血、息切れ、あおあざができる、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、からだがだるい、発熱、出血しやすい
感染症 かんせんしょう	かぜのような症状、からだがだるい、発熱、嘔吐（おうと）

劇症肝炎 げきしょうかんえん	食欲不振、発熱、吐き気、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、判断力の低下、尿の色が濃くなる、頭痛、意識がなくなる、嘔吐（おうと）、考えがまとまらない、意識の低下、羽ばたくような手のふるえ
肝不全 かんふぜん	食欲不振、吐き気、嘔吐（おうと）、羽ばたくような手のふるえ
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	意識の低下、眼がはれぼったい、疲れやすい、尿量が減る、尿がでない、頭痛、からだがだるい、息苦しい、からだのむくみ
尿細管壊死 にょうさいかんえし	意識の低下、眼がはれぼったい、疲れやすい、尿量が減る、尿がでない、頭痛、からだがだるい、息苦しい、からだのむくみ
重症ネフロパチー じゅうしょうネフロパチー	意識の低下、眼がはれぼったい、疲れやすい、尿量が減る、尿がでない、頭痛、からだがだるい、息苦しい、からだのむくみ
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ
肺線維症 はいせんいしょう	発熱、から咳、息苦しい、息切れ
胸水 きょうすい	発熱、から咳、胸の痛み、息苦しい
中毒性表皮壊死融解症(TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう(テン)	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群(スティーブンスジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん	高熱、陰部の痛み、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、発熱、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、まぶたや眼の充血、食欲不振、からだがだるい、結膜のただれ
出血性腸炎 しゅっけつせいちょうえん	激しい腹痛、血が混ざった便、吐き気、嘔吐（おうと）、発熱
壊死性腸炎 えしせいちょうえん	腹がはる、嘔吐（おうと）、下痢、血が混ざった便
膵炎 すいえん	胃・おなかの激しい痛み、吐き気、背中の痛み、嘔吐（おうと）
骨粗鬆症 こつそしょうしょう	腰・背中の痛み、骨折しやすくなる、手足の痛み
脳症(白質脳症を含む) のうしょう(はくしつのはくしょうをふくむ)	意識の低下、考えがまとまらない、判断力の低下、物忘れ、けいれん、ふらつき、ぼんやりする、意識がなくなる、しゃべりにくい、覚えられない

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、発熱、からだのだるい、ふらつき、からだのむくみ、疲れやすい、高熱、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、骨折しやすくなる、かぜのような症状、けいれん、関節の痛み
頭部	めまい、頭痛、考えがまとまらない、意識の低下、意識がなくなる、意識がうすれる、ぼんやりする
顔面	ほてり、鼻血、血の気が引く
眼	眼と口唇のまわりのはれ、白目が黄色くなる、眼がはれぼったい、まぶたや眼の充血、結膜のただれ
口や喉	眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、歯ぐきの出血、嘔吐（おうと）、吐き気、から咳、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、しゃべりにくい
胸部	息切れ、息苦しい、動悸（どうき）、吐き気、胸の痛み
腹部	吐き気、食欲不振、激しい腹痛、腹がはる、胃・おなかの激しい痛み
背中	背中での痛み、腰・背中での痛み
手・足	羽ばたくような手のふるえ、関節の痛み、手足の痛み
皮膚	じんましん、あおあざができる、皮膚が黄色くなる、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）
便	下痢、血が混ざった便
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る、尿がでない
その他	判断力の低下、出血が止まりにくい、出血しやすい、陰部の痛み、物忘れ、覚えられない

【この薬の形は？】

	円形の錠剤（素錠）
形状	
直径	6.4mm
厚さ	3.1mm
重さ	100mg
色	わずかにまだらをもつ淡黄褐色
識別コード	LL M1

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	メトトレキサート
添加物	トウモロコシデンプン、部分アルファー化デンプン、乳糖水和物、ステアリン酸マグネシウム、pH調節剤

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ファイザー株式会社

(<http://www.pfizer.co.jp/pfizer/>)

製品情報センター

学術情報ダイヤル：0120-664-467

FAX：03-3379-3053

受付時間：月～金 9時～17時30分

（祝日、当社休日を除く）